

## 平成24年度第1回海老名環境審議会議結果

日 時：平成24年6月19日（火） 10:00～11:45

場 所：市役所3階政策審議室

出席者：委 員：伊藤副会長、白石副会長、松本委員、安彦委員、木村委員、金指委員  
浅沼委員、山本委員、鈴木委員、熊澤委員、米本委員 計11名

事務局：濱田部長、平本次長、中山課長

環境政策係：押方係長、武井主査、吉野主任主事

環境保全係：小澤主幹、篠原主査、古谷主事

傍聴者：なし

- 1 開会（進行） 中山課長
- 2 委嘱状交付 内野市長→山本委員
- 3 市長あいさつ 内野市長

本日は、平成24年度第1回海老名市環境審議会にご出席いただき、心より感謝申し上げます。

4月の機構改革で、環境政策課と緑を担当していた公園緑地課の一部が合体し、環境みどり課となりました。2部に渡っていた自然緑地や樹木指定それぞれが合わさり、スピーディーに対応ができるようになりました。

6月議会が15日に閉会となりました。放射能に関する質問もあり、国の基準を基に、市町村の役割を明確にしていくつもりです。当市を含め、近隣市町村でも知恵を絞って対応をしており、今後も、市民の安全安心を守っていくのが市の役目と考えています。

エネルギー問題では、大飯原発が再稼動することとなり、関西電力管内のひっ迫した電力供給不足は一応回避される見込みですが、東京電力管内もまだまだ十分な状態ではありません。そのため、本市の今年の節電対策は、昨年に引き続き、7・8月水曜午後閉庁、土曜午前開庁を実施します。

6月の後半から7月上旬には環境フェスティバルを開催、その際に表彰されるえびな環境大賞とエコ川柳コンテストの審査については、後ほどよろしく申し上げます。

来年度は、第四次総合計画の折り返しの年であり、環境面の政策に関するご意見も伺えればと思っています。

今後も環境行政にご協力いただくことをお願いしましてあいさつとさせていただきます。

#### 4 会長あいさつ（会長代理 伊藤副会長）

おはようございます。会長に代わってごあいさつ申し上げます。

海老名の住み良い街づくりのために、みなさんの忌憚のないご意見を伺えればと思いますので、ご協力をお願いいたします。

本日の審議会を議事に従って進めてまいりたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

————— 内野市長から審議会に諮問 —————

事務局：4月1日付け人事異動に伴う職員紹介

事務局：委員過半数出席により会議成立を報告

## 5 議 事（海老名市環境審議会条例第7条第1項に基づき議長は会長（今回は代理副会長）が担う

### （1）諮問事項 自然緑地保全区域の指定解除について（3件）

環境みどり課環境保全係より資料に基づき詳細説明

～1件目（解除理由：樹木が強風等で倒れ危険なため伐採し、樹林地ではなくなったため）

委員：理由が台風等の倒木であるので致し方ないと思う。

委員：市には、倒れないようにする対策はありますか。

環境みどり課：特に具体的にはありませんが、倒れたもの、越境したものは他への影響があるのですぐに対応をしてもらっていますが、伐採後、根を張って株立ちできるケヤキ等の樹木を植樹していただく提案をすることなど、対策については、専門家に意見を聞いてみます。

委員：スギは人工林、クヌギは自然林、せつかくの自然林を残せるような対策はないのか。間伐の方法等自然林を守る方策を市が指導する必要があると思う。

委員：指定後所有者に対し、勉強会を開催することも案としてあるのでは。

環境みどり課：検討させていただきます。

委員：第1種住居地域なので土地利用がされるのか。

環境みどり課：すぐに土地利用するという話は聞いていません。

議長：所有者に自然林を残すように再度話してみる価値はあるので、本件は、継続審議とし、今回は結論を出さないこととしますが、事務局としてはいかがでしょうか。

環境みどり課：解除後再植樹を依頼し、それを新規指定したいと考えています。

委員：解除届は受理後早急に承認をしなければならないのか。

環境みどり課：特にそのような決まりはありません。

議長：再度所有者に話をして、何とか緑地を残すよう指導・助言をして欲しい。本件を審議保留としてはどうか。

環境みどり課：そのように保留とし、継続審議とします。

議長：次回の審議会において、その後の結果を報告して欲しい。

環境みどり課：承知しました。継続か解除かをご報告します。

## ～2・3件目（解除理由：地権者より維持管理困難の旨申し出あり）

委員：解除後には土地利用を考えていますか。

環境みどり課：そのようです。

委員：維持管理ができなくなった理由は。

環境みどり課：所有者は、保全区域以外にも土地を所有しているが、今回は保全区域の土地を手放したいという意向がありました。維持管理が困難な理由は具体的には聞いていません。

所有者の子からは、少しずつ手放していきたい意向を確認しています。

委員：現況を示す写真等記録はありますか。

環境みどり課：あります。樹林地で状態は荒地というわけではありませんでした。

委員：手放すにあたっては、経済的な理由もあると思うが、継続してもらえる提案・方策があるなら所有者への交渉の余地はあるのでは。市として、緑のロケーションプランのようなものはあるのか。

環境みどり課：緑の基本計画で面積はあるが、地域としてはない。個人所有の緑地は飛び飛びであるため、なかなか重点的に守るといような設定は難しい。

委員：解除後いずれ住宅になると思う。住宅にする限度を地域によって決めれば緑も増えるのではないか。

委員：第1種住居地域は1つの敷地を広くすると売れない。固定資産税も高いという状況を考えると、どうしろとは言えない。

議長：色々と言いがでましたが、本件は了承することよろしいか。

⇒了承、本件は、諮問事項でありますので答申します。

## (2) 審査事項

### ～えびな環境大賞、エコ川柳コンテストの審査・選考～

事務局：審査方法を説明

選考基準に基づき審査

選考にあたっての意見

- ・机上だけでなく、現場審査等も今後の検討材料にしてほしい。
- ・どの応募者も有益な活動、取組みを実施しており、環境負荷低減への意識が高い。審査する側もしっかりとした審査を実施していく必要がある。
- ・採点基準の配点理由に分かりにくいところがある。

※審議会の採点結果を基に受賞者の最終決定を市長が行う。

## (3) 報告事項

### ～平成24年度環境みどり課予算事業概要について～

事務局：資料に基づき概要説明

委員：環境基金の今後の使途について伺いたい。

事務局：実績は、電気自動車の導入費用、大型生ごみ処理機、節電キャンペーン参加費として活用してきた。今後については、(1) エネルギー対策、地球温暖化対策又は環境負荷対策、(2) 資源化対策、美化対策又はごみ減量化対策、(3) 緑化対策、(4) 環境教育又は啓発に該当する事業に活用していく。

事務局：基金の主な元金は、市民及び事業者からの寄附、ペットボトル・廃プラ拠出金があり、拠出金に関しては、毎年多額の収入がある。これは、各市町村ごとに回収した資源物の量により単価が決定され、資源物の状態の良し悪しにより配当額が決定されている。当市は資源物の処理状態が非常に良いため、多額の配当を受けとることができている。この要因は、市民のみなまの日々の取組み（飲み終わったペットボトルをきれいに洗って捨てる等）が大変優秀であることを物語っている。

委員：説明にある有益な情報を広く周知していただくと共に、使途についても具体的な情報を今後得られればと思います。

事務局：承知しました。

#### ～平成24年度環境フェスティバルの概要について～

事務局：資料に基づき概要説明

委員：委員として審議することを担っている以上、色々と環境全般について勉強していかなくてはいけないと思っている。環境配慮施設をみなさんで見学したりすることも大変勉強になると思う。

事務局：参考にさせていただきます。

他に質問等がないようなので、次に進みたいと思います。用意された議事についてはすべて終了しましたので、議事進行を事務局へお返しします。

## 6 閉会（副会長あいさつ）

大変お疲れ様でした。みなさんより忌憚のないご意見を伺うことができました。今後も海老名の住み良い街づくりのため、環境保全のために積極的な意見をお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。

事務局：本日は長時間に渡り、会議にご出席いただきましてありがとうございました。これにて、平成24年度第1回海老名市環境審議会を終了とさせていただきます。

----- 散 会 -----